



西おきたま つや姫だより

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト置賜地域本部 西置賜農業技術普及課

出穂は「**平年並～やや早い**」予想！

穂肥は**遅れず**・生育診断に応じた**“食味重視”**の施肥を！

つや姫の生育は、指標値に比べ、草丈は「やや長く」、茎数は「多く」、葉数は「やや多く」、葉色は「やや濃い」状況です。

出穂期は「平年並～やや早い」予想です。今後、気温が高く経過するとさらに早まる可能性もあります。穂肥は遅れず、生育診断に基づく“食味重視”の「つや姫」づくりに努めましょう。

1 生育状況（西置賜農業技術普及課生育診断圃）

()内は指標値比・差

6月30日現在		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
つや姫	飯豊町	56.1 (117)	631 (126)	10.1 (+0.8)	40.7 (+0.7)
	指標	48.0	500	9.3	40.0

2 直ちに中干し・作溝を行いましょう！

中干しは、田面に小ヒビが入る程度を基本とします。生育量が大きい場合や葉色が濃い場合は強めの中干し、生育量が小さい場合や葉色が低下している場合は弱めの中干しとします。

中干し直後は、作溝に水がたまる程度とし、その後徐々に間断かん水を行います。

【作溝・中干しの効果】

- 無効分げつの抑制、根の健全化、受光体勢の良化 → 登熟向上、倒伏軽減
- 間断かんがいの効率化 → 地耐力の向上、節水効果

3 食味重視の穂肥で全量出荷基準（玄米タンパク値基準）達成！

○ 10葉期の生育診断《裏面図を参照》

① 適正域

【m²あたり茎数が 600 本/m²以下、葉色が 39 以下の場合】

→ 出穂 30 日前に **窒素成分 1.5 kg/10a**

② 生育やや過剰・葉色やや濃い

【m²あたり茎数が 600～650 本/m²、または葉色が 39～41 の場合】

→ 出穂 30 日前に **窒素成分で 1.0 kg/10a 以下**

③ 生育過剰・葉色濃い

【m²あたり茎数が 650 本/m²以上、または葉色が 41 以上の場合】

→ 出穂 25 日頃まで葉色が低下したら、窒素成分で 1.0 kg/10a 施用
葉色が低下しない場合は追肥を行わない。

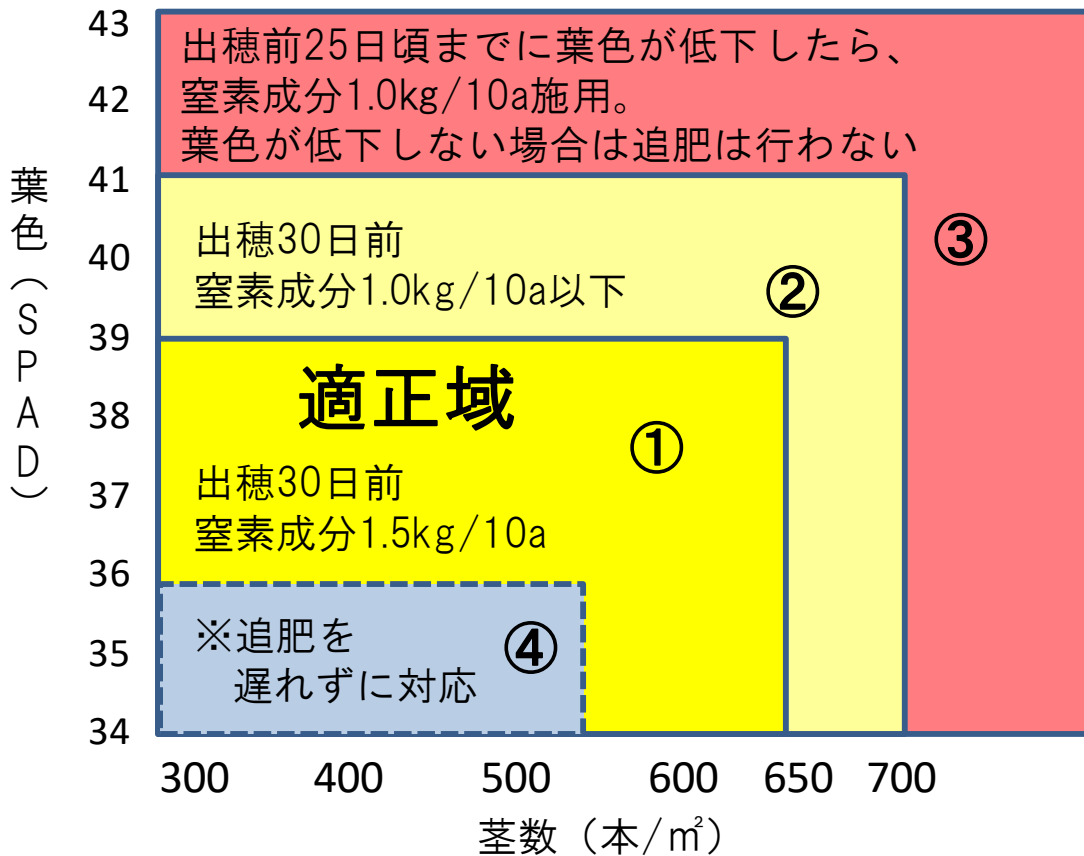
④ 生育量小さい・葉色薄い

【m²あたり茎数が 500 本/m²以下、かつ葉色が 36 以下の場合】

→ 出穂 30 日前まで、**窒素成分で 1.5 kg/10a 以下**

※追肥量を多くすると消化しきれずにタンパクが高まる！

【10葉期の生育診断】



今年の出穂予想：8/9～11日頃→追肥時期の目安7月10～12日頃
追肥時期が遅れると、玄米粗タンパク含有率が高まり、食味が低下する恐れあり。生育診断に基づき、遅れずに追肥を実施しましょう！

4 いもち病・斑点米カメムシ類の対策は万全に！

○梅雨入り以降、いもち病の感染に好適な気象条件が発生しており、葉いもちの蔓延に注意が必要です。圃場をよく見回り、**早期発見、早期防除**を徹底しましょう。

○イネ科雑草が繁茂している**畦畔・農道等の草刈り**を地域ぐるみで徹底し、カメムシ類の生息密度低減に努めましょう。また、水田内のノビエやイヌホタルイなどの雑草は斑点米カメムシ類の水田侵入・増殖を促します。**水田内の残草処理**を徹底しましょう。（※除草剤の使用の際は使用基準を遵守）

斑点米カメムシ類「多い」！
今すぐ草刈りを行い、斑点米カメムシ類の生息密度を減らしましょう！



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ



アカスジカスミカメ

農作業事故・熱中症に注意！

◎「もうちょっと…」という無理が重大事故につながります。

◎暑い日が続きます。熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょう！

山形県農薬危害防止運動実施中！～農薬を使用する際は使用基準を再確認！その都度記帳！～